

- 恒常的赤字病院：過去3年間（平成17～19年度）継続して赤字
- 中間病院：過去3年間（平成17～19年度）黒字と赤字が交錯

1 1）設備投資有無別比較

- 設備投資実施病院：平成19年度の固定資産が平成17年度の固定資産より1.5倍以上増加
- 設備投資非実施病院：平成19年度の固定資産が平成17年度の固定資産より減少
- 設備投資中間病院：平成19年度の固定資産が平成17年度の固定資産と同額以上1.5倍未満

II 調査研究結果

1. アンケート回収状況

アンケートの回収率は、医療法人が 21.0%、公的病院が 58.2%であった。回収票の点検、照会を行った結果、有効回答が得られた 1402 施設（医療法人 795 施設、公的病院 607 施設）を対象に集計を行った。

図表2 回収状況

区分	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
医療法人	5,721	1,204	21.0%	795	13.9%
公的病院	1,425	829	58.2%	607	42.6%
計	7,146	2,033	28.4%	1,402	19.6%

2. 平成19年度病院経営管理指標の概要

平成 19 年度病院経営管理指標の詳細については別冊の「平成 19 年度病院経営管理指標」に示し、以下ではその概況を述べる。

(1) 施設概況

1) 病院種別施設数

図表 3 は、本調査の集計対象施設について、開設者別の病院種別施設数¹の構成をみたものである。

医療法人立病院ではケアミックス病院が最も多く、他の開設者区分では、一般病院が最も多くなっている。

¹ 一般病床80%以上を一般病院、療養病床80%以上を療養型病院、精神病床80%以上を精神科病院、その他をケアミックス病院としている。

図表3 病院種別施設数

区分	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院	計
医療法人	232	246	171	146	795
自治体	251	100	4	19	374
社会保険関係団体	37	3	0	0	40
その他公的	151	37	3	2	193
計	671	386	178	167	1,402

2) 病床数

図表4は、開設者別の病院種別平均許可病床数をみたものである。一般病院については、その他公的病院、社会保険関係団体病院、自治体病院、医療法人立病院の順で規模が大きく、その他公的病院と、医療法人立病院では2.9倍の開きがある。ケアミックス病院については、開設者間の規模の開きは一般病院より小さい。療養型病院については、自治体病院、その他公的病院より、医療法人立病院の方が規模が大きい。

図表4 平均許可病床総数（床）

区分	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	135.0	162.6	133.7	238.7
自治体	295.0	175.7	68.8	262.0
社会保険関係団体	317.0	90.3	-	-
その他公的	386.0	191.3	67.0	268.5

さらに、図表5～図表8は、各開設者の許可病床について、病床の種類別内訳をみたものである。ケアミックス病院の病床は、いずれの開設者区分においても一般病床が最も多いが、医療法人立病院においては、一般病床と療養病床の差は僅かである。

図表5 医療法人立病院の許可病床内訳（床）

区分	精神	感染症	結核	療養	一般	総数
一般病院	0.3	0.1	0.0	2.6	132.1	135.0
ケアミックス病院	11.7	0.0	0.2	74.5	76.1	162.6
療養型病院	0.3	0.0	0.0	130.8	2.6	133.7
精神科病院	232.3	0.0	0.0	5.2	1.2	238.7

図表6 自治体病院の許可病床内訳（床）

区分	精神	感染症	結核	療養	一般	総数
一般病院	3.9	1.8	2.7	3.1	283.4	295.0
ケアミックス病院	25.9	0.7	2.7	34.3	112.1	175.7
療養型病院	0.0	0.0	0.0	66.8	2.0	68.8
精神科病院	261.4	0.1	0.5	0.0	0.0	262.0

図表7 社会保険関係団体病院の許可病床内訳（床）

区分	精神	感染症	結核	療養	一般	総数
一般病院	4.8	0.4	0.8	2.1	309.0	317.0
ケアミックス病院	25.0	0.0	0.0	20.0	45.3	90.3
療養型病院	—	—	—	—	—	—
精神科病院	—	—	—	—	—	—

図表8 その他公的病院の病床内訳（床）

区分	精神	感染症	結核	療養	一般	総数
一般病院	5.9	1.2	1.7	4.7	372.5	386.0
ケアミックス病院	21.4	0.5	1.5	43.2	124.7	191.3
療養型病院	0.0	0.0	3.3	63.7	0.0	67.0
精神科病院	268.5	0.0	0.0	0.0	0.0	268.5

(2) 黒字病院比率

1) 黒字病院比率（平成19年度）

有効回答施設 1402 施設のうち、黒字病院²は 836 施設で 59.6%の施設が黒字、残りの 40.4%の施設が赤字である。

開設者別にみると、医療法人立病院では、77.9%の施設が黒字であり、さらに病院種別にみると、精神科病院、療養型病院、ケアミックス病院、一般病院の順に黒字比率が高くなっている。自治体病院では、28.3%の施設が黒字で、3割に満たない状況である。自治体病院でも医療法人立病院と同様に、長期入院施設ほど黒字比率が高くなっている。社会保険関係団体病院では、55.0%の施設が黒字、その他公的病院では、46.1%の施設が黒字である。社会保険関係団体病院およびその他公的病院では、ケアミックス病院と比べ、一般病院の黒字比率が高い。

図表9 黒字病院比率

区分	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院	計
医療法人	71.6%	74.4%	81.3%	89.7%	77.9%
自治体	25.1%	32.0%	50.0%	47.4%	28.3%
社会保険関係団体	56.8%	33.3%	—	—	55.0%
その他公的	46.4%	45.9%	33.3%	50.0%	46.1%
計	47.7%	60.4%	79.8%	84.4%	59.6%

※表中の網がけは、サンプル数が5以下（以下同じ）。

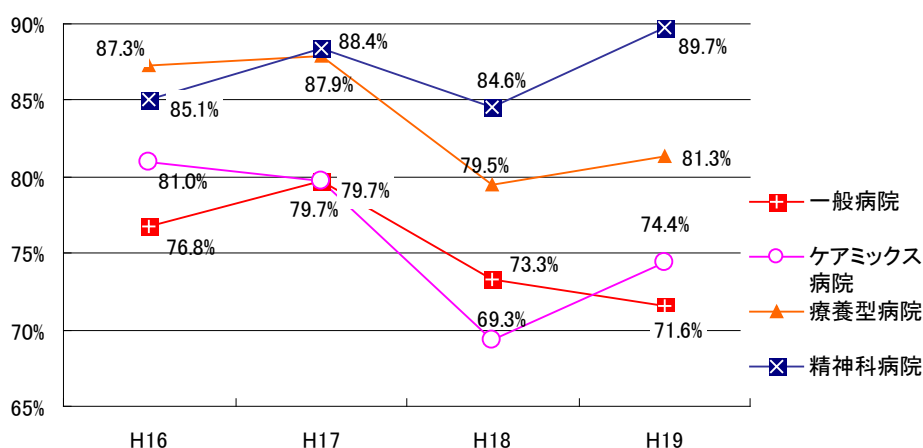
2) 医療法人立病院の黒字病院比率の推移

平成16年度以降の医療法人立病院の黒字病院比率の推移をみると、精神科病院、療養型病院、ケアミックス病院については、平成18年度に黒字病院が減少していたが、平成19年度は増加に転じ、収益力の回復が窺える。中でも精神科病院は過去4年間でも最も高い水準となっている。ケアミックス病院については、黒字病院が減少し続けていたが、平成19年度には、初めて増加に転じている。

一方、一般病院については、平成19年度においても回復がみられず、2期連続で黒字病院が減少している。

² 病院経営管理指標では、経常利益により黒字・赤字のグループ化をしている。

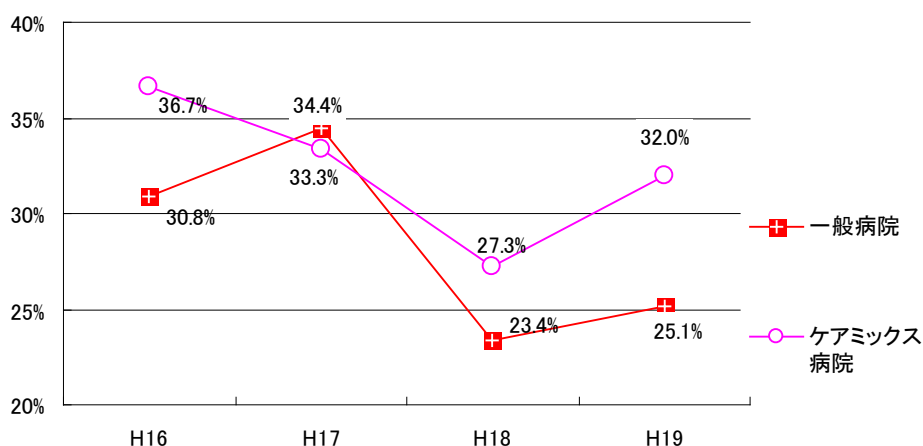
図表10 黒字病院比率推移（医療法人立病院）



3) 自治体病院の黒字病院比率の推移

自治体病院の黒字病院比率の推移をみると一般病院、ケアミックス病院いずれも、平成18年度に黒字病院が減少していたが、平成19年度は増加に転じている。

図表11 黒字病院比率推移（自治体病院）



※ 本グラフには、過去4年間を通じ、一定のサンプルが得られた区分のみ掲載した。

(3) 医業利益率

1) 医業利益率（平成19年度）

病院種別の平均医業利益率をみると、医療法人立病院では、いずれの区分でもプラスであり、療養型病院、精神科病院、ケアミックス病院、一般病院の順に高くなっている。自治体病院では、いずれの病院種別でもマイナスであり、さらに、償却前医業利益率（補正指標）でも、全区分でマイナスの状況である。医業利益率

のマイナス幅については、一般病院のマイナス幅が最も小さく、医療法人における順位とは逆である。社会保険関係団体病院、その他公的病院でも同様に、全区分でマイナスであり、一般病院において、マイナス幅が小さい傾向にある。

図表12 医業利益率

開設者区分	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	2.0%	2.8%	5.9%	3.6%
自治体	-14.6%	-15.2%	-22.9%	-18.0%
社会保険関係団体	-1.3%	-6.9%	-	-
その他公的	-2.1%	-6.8%	-10.4%	-1.5%

※網がけは、サンプル数が5以下。

図表13 償却前医業利益率（補正指標）

開設者区分	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	5.5%	7.2%	10.0%	8.2%
自治体	-7.8%	-10.2%	-18.0%	-15.4%
社会保険関係団体	3.9%	3.1%	-	-
その他公的	3.8%	-1.4%	-6.1%	2.3%

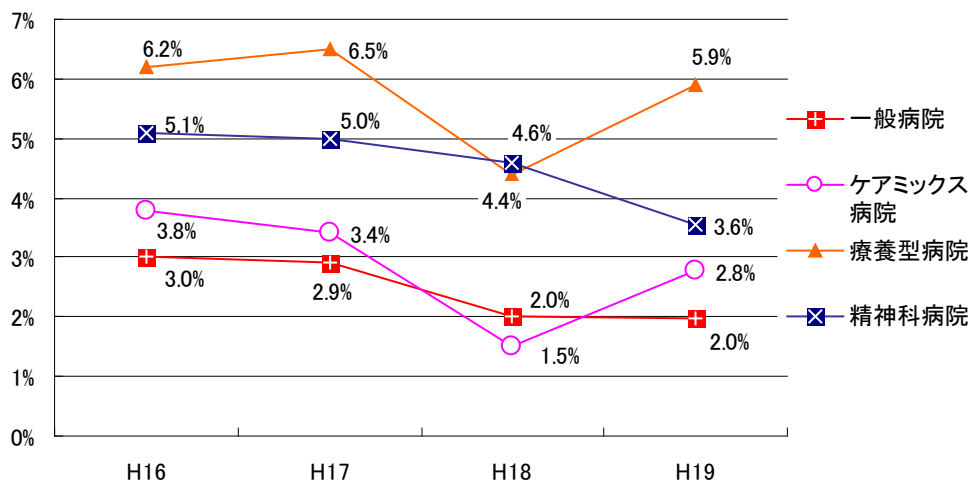
※網がけは、サンプル数が5以下。

2) 医療法人立病院の医業利益率の推移

平成 16 年度以降の医療法人の病院種別の医業利益率の推移をみると、一般病院および精神科病院において、低下傾向が続いている。特に精神科病院は、先にみたとおり、全体における黒字病院の占める割合は過去 4 年間で最高であったが、医業利益率でみると最も低くなっている。

一方、ケアミックス病院と療養型病院については、平成 18 年度に大きく落ち込んだが、平成 19 年度には、やや回復している。

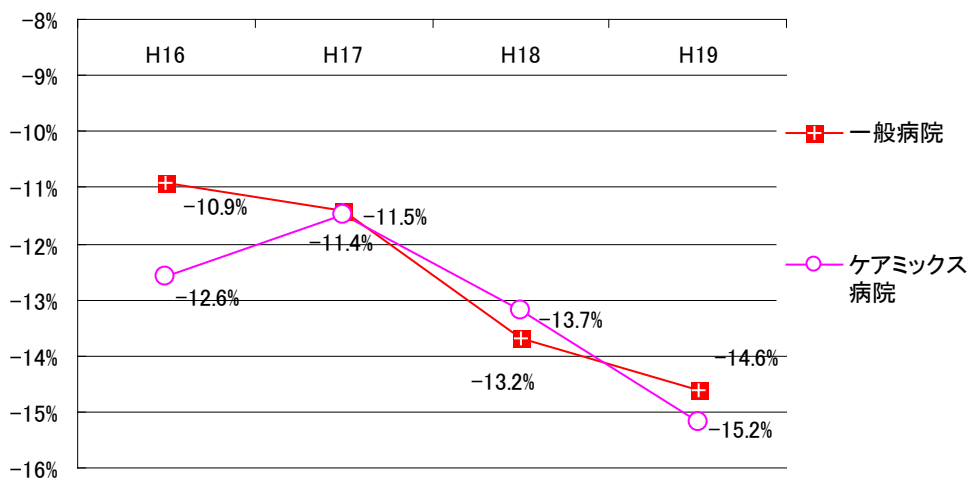
図表14 医業利益率の推移（医療法人立病院）



3) 自治体病院の医業利益率の推移

平成 16 年度以降の自治体病院の病院種別の医業利益率の推移をみると、一般病院は、一貫して低下している。ケアミックス病院については、平成 17 年度に、回復したが、その後は低下が続き、平成 19 年度は一般病院を下回る比率となっている。

図表15 医業利益率の推移（自治体病院）



※ 本グラフには、過去 4 年間を通じ、一定のサンプルが得られた区分のみ掲載した。